

謹啓 青葉の候、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

貴台には、平素から地域における交通安全活動を始め、警察行政の各般にわたり並々ならぬ御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、五月十一日から十日間にわたり実施されました、春の全国交通安全運動では、関係機関・団体、地域・職域の皆様方の御協力をいただきながら、「子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止」など、各種対策に取り組んでまいりました。

本年は、交通安全運動終了時点において、戦後最少を記録した昨年の交通事故死者数を下回るペースで推移しております。

運動期間中につきましては、発生件数、負傷者数が減少しましたものの、残念ながら一名の方が交通事故の犠牲となりました。

警視庁では「世界一の交通安全都市TOKYOを目指して」をスローガンに掲げ、都民が安全・安心を実感できる快適な交通社会を実現するため、特に、高齢者や幼児・児童など、交通弱者である歩行者の安全を確保するため、横断歩道は歩行者優先であることを広く呼びかけるなどの各種諸対策に取り組む、悲惨な交通事故を一件でも減らすよう、引き続き努めて参ります。

貴台におかれましては、引き続き交通安全対策に対する、一層の力強いお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

まずは略儀ながら書中をもって御礼申し上げます。

謹言

令和元年五月

警視庁交通部長

坂口拓也